コロナ禍における災害避難、とるべき行動とは?

密閉空間・密集場所・密接場面 避難先を分散して「3密」を避けよう



自宅での安全確保が難しい場合には、避難所への避難をしなくてはいけませ ん。しかし、避難先は自治体が決めた避難所(指定避難所)でなくてはならない わけではありません。

近くの親戚の家や知人宅なども、予め検討しておきましょう。









避難先は学校・公民館などの 指定避難所だけでなく









知人の家

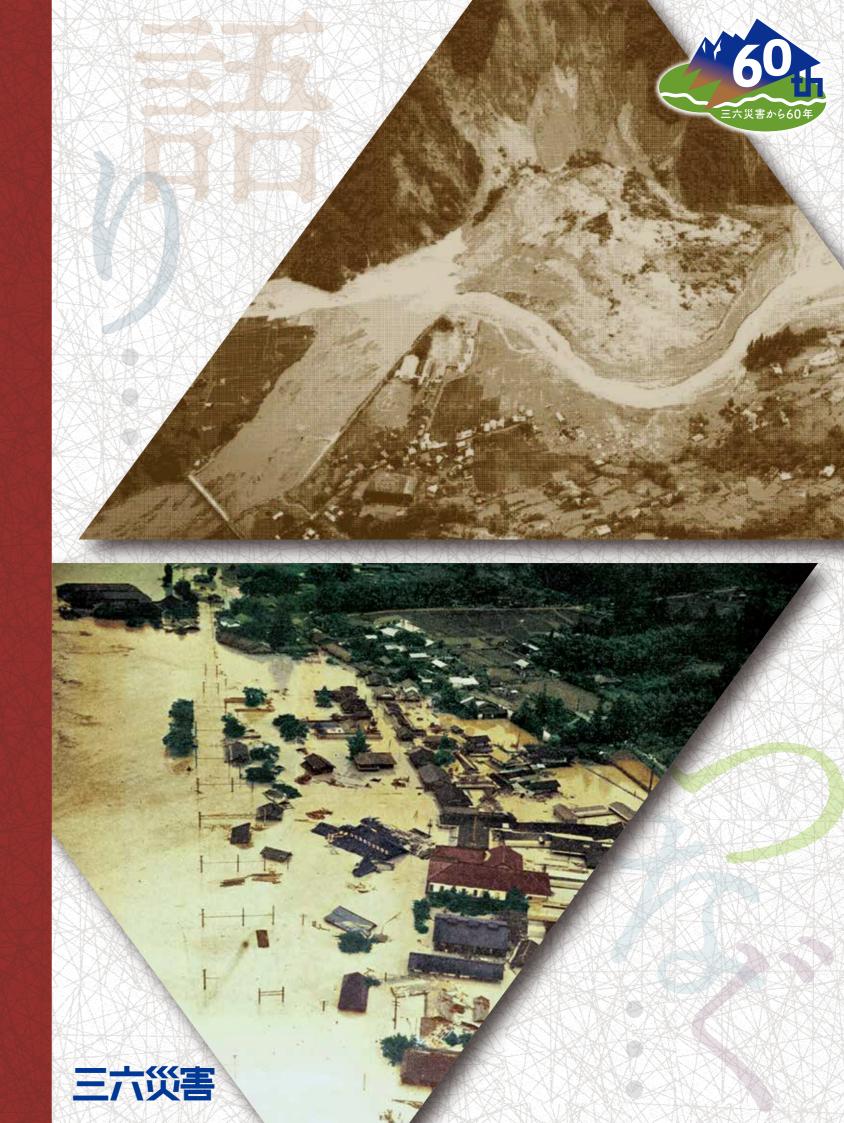




国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10 TEL 0265-81-6411

写真: 国土交通省天竜川上流河川事務所 カラー加工:一般社団法人中部地域づくり協会



死者·行方不明者 136名

昭和36年(1961)6月、伊那谷は未曾有の大災害に襲 われました。天竜川流域の各地で大雨により土砂崩れなど の災害が発生し、その数は伊那谷全体で1万箇所を超え たと言われます。また、土砂の流入により河床が上昇し、天 竜川本川、支川の各地で堤防の決壊や氾濫による浸水被

伊那谷では道路網が寸断し、孤立する集落が続出しまし

た。電気や水道は止まり、輸送の大半を担っていた飯田線な どの鉄道も不通となったことから食料の供給もままならない 状況の中、人々は恐怖に震えながらの避難生活を余儀なく されました。この一連の災害で長野県では死者・行方不明 者136名、浸水戸数18,488戸、被害総額は約341億円(現 在の価格に換算すると約1,224億円*)に及ぶ甚大な被害

害が発生しました。

となりました。

●伊那谷の日雨量分布図

(6月27日)

被害総額約341億円。

長野県を襲った「未の満水」以来の未曽有の大災害

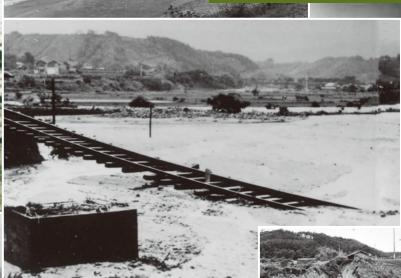
大鹿村の行方不明者の捜索



天竜橋下流右岸の家屋浸水状況(飯田市時又)



<u>土砂により埋め尽くされた田畑(飯田市川路)</u>



国鉄飯田線の被災状況(高森町下平)

伴野堤防の被災状況(豊丘村伴野)

●6月27日15時及び28日15時の

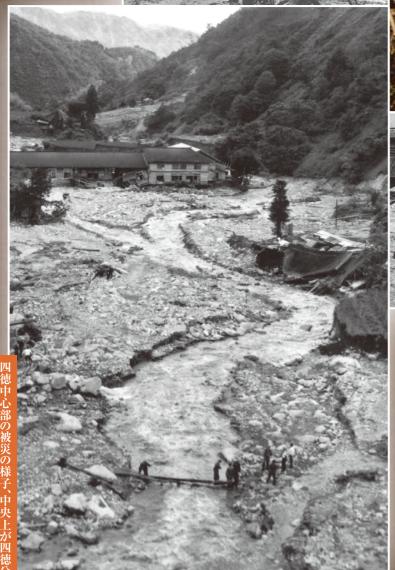
梅雨前線の停滞から始まった雨が台風の 接近に伴い集中豪雨をもたらした。

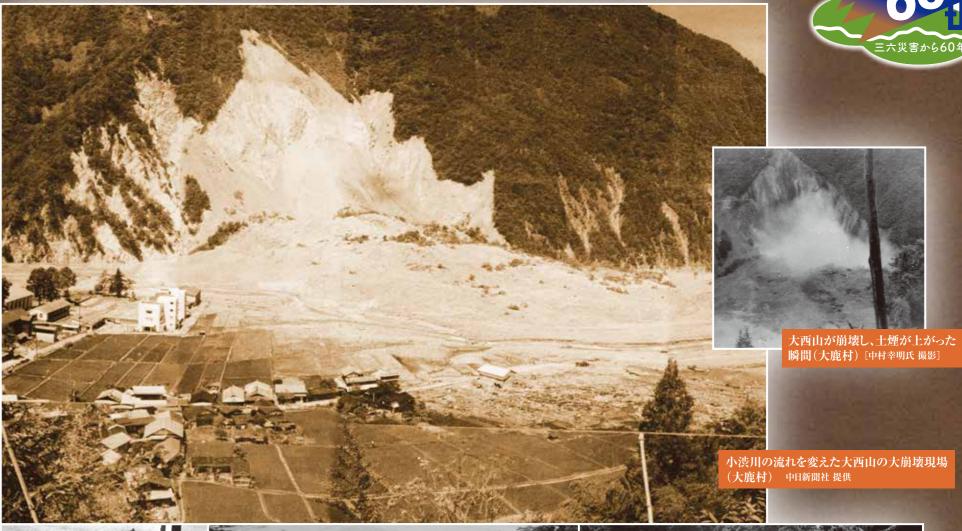
一日で325mm(飯田測候所)の雨量を記録した集中豪雨と脆弱な地質構造など、いく つかの要因が重なり大災害となりました。

一砂の猛威を記した伊那谷の災害。 流れを変えられ

三六災害の大きな特徴となっているのが、大規模な土砂災害です。標高3,000m級の山々が連なる2つの山脈にはさまれた谷の中央を天竜川が流れる地形、そして脆弱な地質を持つ伊那谷を集中豪雨が襲いました。このため、いたるところで、崖崩れや地すべりなどの土砂災害が発生しました。









高森町山吹の被災状

THE RESERVE THE PARTY OF THE PA

最大の悲劇といわれる大西山の崩壊、 災害史上まれに見る惨事として記憶された。

天候も回復した6月29日午前8時30分頃、大西山で、小規模な崩壊が発生しました。これが大西山の大崩壊の始まりでした。9時10分頃、大きな轟音とともに崩落した石や土砂が大河原中心部を襲いました。高さ450mから落下した厚さ15m、幅500mの岩塊は屏風が倒れるように崩れ落ち、大量の石や土砂は、小渋川の堤防よりもはるかに高い山津波となって対岸の家屋に押し寄せました。

S36.6三六災害

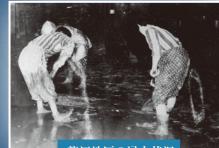
狭さく部の上流が氾濫、支川は天竜川に流れ込む合流部で堤防の決壊、越水。

明神橋下流の氾濫状況

高森町下市田·豊丘村伴野)

昭和36年6月、梅雨前線の停滞に伴い23日か ら降り始めた雨は、台風第6号の接近とともに26日 から集中的な豪雨に変わり、27日には降雨量が ピークに達しました。

各所の土砂災害とそれによる大量の流出土砂の ため、狭さく部の上流が氾濫、支川は天竜川に流 れ込む合流部で溢水、下流部では河床が一時的 に上がって堤防の越流が引き起こされました。



能江地区の浸水状況

川路小学校の浸水状況 (飯田市川路)

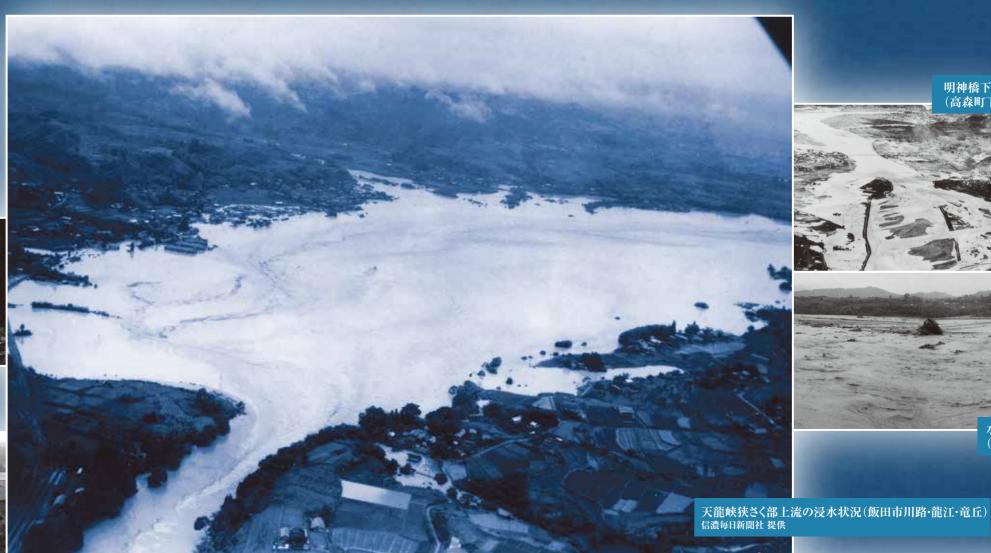




川路駅周辺の浸水状況

(飯田市川路)

天竜川と支川間沢川合流点の氾濫









水神橋下流清水の出水状況 (飯田市松尾)

川路・龍江・竜丘地区における被害

飯田市の川路地区は、久米川や天竜川からの土砂を含んだ洪水で浸水し、江戸時代の大洪水である「未の満水」 さながらの状態となりました。濁水は住宅の2階まで達し、全半壊、床上・床下浸水などが相次ぎました。川路駅も屋根ま で浸かり、川路小学校は2階の窓まで浸水しました。当時日本三大桑園といわれた広大な桑畑も大被害を受けました。

三六災害から60年、よみがえった伊那谷

60年を経ることで、かつての被災地も 災害の痕跡を見つけることが困難になりつつある。

飯田市 川路・龍江・ 竜丘 地区

現在、飯田市川路・龍江・竜丘地区は全面盛 土方式によって安全な土地となることで、企業 の進出や宅地化が進み、天竜峡エコバレープ ロジェクトなどの企業立地も始まっています。







川路・龍江・竜丘地区治水対策事業の整備状況

昭和57年(1982)より河川改修に着手し、堤防の引堤や河道の掘削などの改修工事が進められ、伊 那・伊北地区は治水安全の向上が図られてきました。近年は企業の進出等によって経済活動も活発に なってきています。

地区

伊那•伊北



伊北Ⅱ期改修引堤前の状況(辰野町宮木)



伊北II期改修引堤完了後の状況(辰野町宮木)

先人達はその試練を乗り越え、試行錯誤の中で復旧を果たしました。宿命といえる土砂対策に終わりのない挑戦を続 け、地域の人々の懸命な努力と中央自動車道の開通や生活道路網の整備等によって地域は繁栄し、よみがえりました。

しかし、伊那谷は災害との戦いの歴史だったことも忘れてはなりません。私たちは過去の災害経験を継承し、先人達の 戦いの歴史を学び、「安全なまちづくり」を考え、進めていく必要があります。

下伊那郡 大鹿村 大西山 地区

昭和36年(1961)の災害箇所も、現在は桜公園として整備され、人々に親しまれています。





駒ヶ根市 新宮川

新宮川、百々目木川を中心とする駒ヶ根市における三六災害の被害は、死者5名、家屋流失119戸、被 害総額約31億円などその惨状は250年来の災害といわれました。河川改修による復旧はされています が、堤防沿い低平地の住居地からより安全な河岸段丘上部への移転も見られます。



新宮川の合流点(駒ヶ根市)

今、あらためて「命を守る行動」を考える!

もしもに備えて川の防災情報

スマートフォンやインターネットで水位情報や河川カメラ画像などをリアルタイムで配信、いつでも、どこでも、避難に必要 な情報が入手できます。大雨の時、身近な「雨の状況」「川の水位」「浸水の危険性」「川の予警報」など、リアルタイムな情報 が「川の防災情報」のウェブサイトから閲覧できます。



浸水ナビ

河川が堤防決壊など氾濫した際に、いつ、どこで、どのくらいの深さまで浸水 するかをアニメーションやグラフで提供しています。

ードマップポータルサイト

国土交通省では、区市町村が作成している各種のハザードマップを、インター ネット上で一元的に検索・閲覧ができるポータルサイト(検索機能を持ったイ ンターネットの入り口となるサイト)で公開しています。

浸水ナビ⇒

https://suiboumap.gsi.go.jp/



ハザードマップ ポータルサイト⇒ https://disaportal.gsi.go.jp/



逃げなきゃコール

離れた場所に暮らす高齢者等の家族に、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかける「逃げなきゃコール」の取り 組みが令和元年5月より開始。

携帯アプリから入手し、地域を登録すると、登録した地域の災害情報が通知(プッシュ通知)されます。

災害時、大切な人を守るためあなたの一声で避難の後押し

「逃げなきゃコール」の流れ

各種アフリやサービス

から登録した地域の

災害情報が入手・通知

されます。

ービスにより異なります。

アプリの入手 地域の登録

防災情報の

プッシュ通知

私の住む地域と おばあちゃんの 住む地域を 登録しよう。

おばあちゃんの 住む地域に

「避難情報」

が出てる!





Yahoo! 防災速報

登録エリア 災害・避難情報メール





YAHOO

au

大切な人に 電話で連絡

おばあちゃん、



MININ



逃げなきやコール

電話を受け 避難行動へ



さらに詳しい情報も 入手できます。 の内容は各種サービスは より異なります。 画面はイメージです



安全な場所 へ避難



今、避難所に 着いたわよ! 連絡ありがとう 平成30年7月豪雨では、避難をせずに 自宅で被災した方が少なくありません あなたのひと声が大切な人を災害から 守ることにつながります。

離れた場所でも、大切な人が住む地域 の災害情報を入手・通知をしてくれます。 災害情報を確認し、あなたから大切な人 へ避難の呼びかけをしましょう。



住民自らの行動に結びつく 水害・土砂災害ハザード・リスク 情報共有プロジェクト

















逃げなきゃコール